

1. 化学物質等及び会社情報

1-1. 製品名称

- ・ 7X Cleaning Solution

1-2. 製品番号

- ・ 76670

1-3. 推奨用途及び使用上の制限

- ・ 推奨用途 : 実験器具類の洗浄剤。
- ・ 使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

1-4. 供給者の詳細

- ・ 会社名 : 株式会社エムピーバイオジャパン
- ・ 住所 : 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-14 セブンビル4F
- ・ 電話番号 : 03-6667-0730
- ・ FAX番号 : 03-6667-0733

1-5. 緊急電話番号

- ・ 03-6667-0730

2. 危険有害性の要約

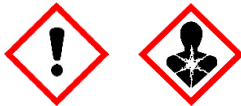
2-1. GHS分類

- ・ 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分2
- ・ 生殖毒性 : 区分2
- ・ 生殖毒性・授乳影響 : 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
- ・ 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(呼吸器、肝臓)

2-2. 注意書きを含むGHSラベル要素

2-2-1. 絵表示

- ・ 右に表示:



2-2-2. 注意喚起語

- ・ 警告

2-2-3. 危険有害性情報

- ・ 強い眼刺激 (H319)
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
- ・ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ(H362)
- ・ 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器、肝臓の障害のおそれ (H373)

2-2-4. 注意書き

1) 安全対策

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
- ・ ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を吸入しないこと。(P260)
- ・ 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263)
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

2) 応急処置

- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
- ・ 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
- ・ 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

3) 保管

- ・ 施錠して保管すること。(P405)

4) 廃棄

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

2-3. 結果として分類されないその他の危険有害性

- ・ 情報なし。

3. 組成及び成分情報

3-1. 化学物質

- ・ 本製品は単一化合物ではない。

3-2. 混合物

- ・本製品は以下の成分を含有する水溶液である:

化学名	CAS RN	含有量 (w/w)
ポリリン酸ナトリウム	68915-31-1	2.5 - 10%
2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール	112-34-5	2.5 - 10%
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩	577-11-7	2.5 - 10%

4. 応急措置

4-1. 必要な応急措置の説明

4-1-1. 飲み込んだ場合

- ・口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

4-1-2. 皮膚に付着した場合

- ・多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。

4-1-3. 吸入した場合

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は医師の診察／手当てを受けること。

4-1-4. 眼に入った場合

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は医師の診察／手当てを受けること。

4-2. 最も重要な急性と発症の遅い症状／影響

- ・情報なし。

4-3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

- ・情報なし。

5. 火災時の措置

5-1. 適切な消火剤

- ・水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂類。

5-2. 化学品から生じる特定の危険性

- ・火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- ・危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- ・消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

5-3. 消防士用の特別な防具と予防措置

- ・消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- ・消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

6-1. 人への予防措置、防具、および応急処置法

- ・作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
- ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- ・関係者以外の立入りを禁止する。

6-2. 環境上の予防措置

- ・環境中に放出してはならない。

6-3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

- ・飛沫が飛散しない方法で空容器に回収し、後で廃棄処理する。
- ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管

7-1. 安全な取扱いのための予防措置

7-1-1. 技術的対策

- ・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・よく換気された場所で使用する。

7-1-2. 安全取扱い注意事項

- ・眼、皮膚、衣服との接触を避けること。
- ・吸入、飲み込みをしてはならない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

7-2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

7-2-1. 適切な保管条件

- ・15～30℃にて保管すること。
- ・直射日光・高温・火気を避けること。
- ・施錠して保管すること。

8. 暴露制御および保護措置

8-1. 管理パラメーター

8-1-1. 2-(2-プトキシエトキシ)エタノール

1) 管理濃度

- ・未設定。

2) 許容濃度

- ・ACGIH (2015年): TLV-TWA 10 ppm (67.5 mg/m³) (IFV)

8-2. 適切な工学的管理方法

- ・この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

8-3. 個人保護措置

8-3-1. 呼吸器の保護具

- ・状況に応じた適切な呼吸用保護具を着用する。
- ・高濃度の化学物質を本品と同時に取扱う場合は、送気マスクの装着を検討する。
- ・作業者がガスや蒸気にばく露される場合は呼吸用保護具(防毒マスク等)の着用を検討する。
- ・防毒マスクの選択については、以下の点に留意する。
 - 酸素濃度が18%未満の場所では使用しない。
 - 作業者が粉塵に暴露される環境で防毒マスクを使用する場合には、防塵機能付き吸収缶を使用する。
 - 防毒マスクは、日本産業規格(JIS T8152)に適合した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。

8-3-2. 手の保護具

- ・適切な保護手袋を着用すること。
- ・不浸透性の保護手袋の着用を検討する。
- ・保護手袋の選択については、以下の点に留意する。
 - 取扱説明書に記載されている耐透過性クラス等を参考として、作業に対して余裕のある使用時間を設定し、その時間の範囲内で保護手袋を使用する。

8-3-3. 眼、顔面の保護具

- ・適切な保護眼鏡及びフェイスシールド等の保護具を着用する。

8-3-4. 皮膚及び身体の保護具

- ・防護服、安全靴又は安全ゴム長靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態 : 液体
- ・色 : 灰青色
- ・臭い : データなし
- ・融点・凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : 225°C
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : 6.0 - 7.5
- ・動粘性率 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール／水分配係数(log値) : データなし
- ・蒸気圧 : 23 hPa (20°C)
- ・密度及び／又は相対密度 : データなし
- ・相対ガス密度 : データなし
- ・粒子特性 : データなし
- ・その他のデータ : なし

10. 安定性及び反応性

10-1. 反応性

- ・危険な重合反応は起こらない。

10-2. 化学的安定性

- ・製品は推奨保存条件下で化学的に安定している。

10-3. 危険有害反応可能性

- ・情報なし。

10-4. 避けるべき条件

- ・情報なし。

10-5. 混触禁止物質

- ・強酸化剤、強還元剤、強酸、強塩基。

10-6. 有害な分解生成物

- ・情報なし。

11. 有害性情報

11-1. 成分の健康有害性情報

11-1-1. 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

- ・ 区分2:CAS番号:577-11-7(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ 区分2A:CAS番号:112-34-5(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ 区分に該当しない:CAS番号:7732-18-5(含有率=81.25% 出典:NITE)
- ・ 分類できない:CAS番号:68915-31-1(含有率=6.25% 出典:)
- ・ 加成方式が適用できる成分からの判定:
眼区分2A+眼区分2の成分合計が12.50%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。

11-1-2. 生殖毒性

- ・ 区分2:CAS番号:577-11-7(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ 区分に該当しない:CAS番号:7732-18-5(含有率=81.25% 出典:NITE)
- ・ 分類できない:CAS番号:68915-31-1(含有率=6.25% 出典:), CAS番号:112-34-5(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ CAS番号:577-11-7が6.25% \geq 3%のため、区分2に該当。

11-1-3. 生殖毒性・授乳影響

- ・ 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分:CAS番号:577-11-7(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ 分類できない:CAS番号:68915-31-1(含有率=6.25% 出典:)
- ・ データなし:CAS番号:7732-18-5(含有率=81.25% 出典:NITE), CAS番号:112-34-5(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ CAS番号:577-11-7が6.25% \geq 0.3%のため、授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分に該当。

11-1-4. 特定標的臓器毒性(反復暴露)

- ・ 区分に該当しない:CAS番号:7732-18-5(含有率=81.25% 出典:NITE)
- ・ 分類できない:CAS番号:68915-31-1(含有率=6.25% 出典:), CAS番号:577-11-7(含有率=6.25% 出典:NITE)
- ・ 区分1:CAS番号:112-34-5(含有率=6.25% 臓器=呼吸器 出典:NITE), CAS番号:112-34-5(含有率=6.25% 臓器=肝臓 出典:NITE)
- ・ CAS番号:112-34-5が6.25% \geq 1%のため、区分2(呼吸器)に該当。
- ・ CAS番号:112-34-5が6.25% \geq 1%のため、区分2(肝臓)に該当。

12. 環境影響情報

12-1. 成分の環境有害性情報

- ・ 製品としてのデータなし。

13. 廃棄上の注意

13-1. 廃棄方法

- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

13-2. 汚染容器および包装

- ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

14-1. 国際および国内規制

- ・ 該当なし。

15. 適用法令

15-1. 該当製品に特有害な安全、健康および環境に関する規制

15-1-1. 対象:2-(2-プトキシエトキシ)エタノール

- ・ 化管法 : 第一種指定化学物質(政令番号:1-170)
- ・ 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険有害物(政令番号:別表第9の224の3)
- ・ : 名称等を表示すべき危険有害物(政令番号:別表第9の224の4:令和6年4月1日施行)
- ・ : 名称等を通知すべき危険有害物(政令番号:別表第9の224の3)
- ・ : 名称等を通知すべき危険有害物(政令番号:別表第9の224の4:令和6年4月1日施行)
- ・ 大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物(VOC)(政令番号:法第2条第4項)

15-1-2. 対象:スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩

- ・ 化審法 : 優先評価化学物質

16. その他の情報

16-1. 参考ウェブサイト

- ・ 経済産業省
- ・ 厚生労働省
- ・ (独)製品評価技術基盤機構

※ この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。